

寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになったこの頃。
春はもうすぐそこに…今年度もあと一ヶ月、進級にむけて新たな1歩を踏み出そう！

節分の集い

今年は「お腹の中に鬼がいる」をテーマに
節分の由来を子どもたちに伝えました。
豆まきや、歌「おにのパンツ」を踊って楽しみました♪



りす 親子行事



皆で手遊び★



1人でできるよ
「サーキット」

うさぎ 親子行事



1.2.3で「サーキット」☆



友だちとワクワク♪
「フルーツバスケット」

ひよこ

節分の集いでは、初めて鬼をみたり、鬼のパネルに向かって新聞紙を使った豆まきをしたりと、季節の行事に触れました。

また、寒さに負けず戸外でも元気いっぱい走り回り、園庭内を散策して石や葉、枝を見つけたりと、小さな発見が沢山ありました。

今月は、鉄棒等を使って、ぶら下がったりぐり抜けたりする等、サーキットを楽しむ中で新たな動きを経験できるようにしてゆきます。

また、朝の会ではストーリー性がある絵本やリズム・歌のある絵本を用意し、子ども達が集中しやすいように工夫してゆきます。

室内では、タンポやシールを使用し、指先を使った製作活動を取り入れ、戸外ではシャボン玉に向かって走るなどの、身体を動かす活動を進めてゆきます。

遊びや絵本を通して、進級を見据えた生活へと繋げられるよう、子ども達の気持ちに寄り添いながら一緒に楽しんでゆきます。



申 奈央

りす

暦では春を迎えましたが、まだまだ寒い日があり、降る雪を見ては喜んだり、手を洗う時には水の冷たさを感じたりしています。

言葉で思いを伝えることが少しずつ出来るようになってきた子どもたちは、「寒いね」「冷たいね」と冬を感じながら言葉で表現することも増えてきました。

2月は保護者の方々と一緒に「親子ふれあい参加」を行うことが出来、とても嬉しく感謝しております。

りす組で過ごすのも、残すところ後ひと月になりました。自分で着替えや身の回りのことが出来るようになってきた子どもたち。

オムツで排泄をすると保育士に伝えてくれたり、トイレでの排泄に成功し喜ぶ姿も増え、たくさんの成長が見られます。

進級に向け、りす①組②組一緒に遊ぶ機会も更に増やし、うさぎ組の保育室で遊ぶ機会を取り入れたり、うさぎ組が遊んでいる姿を見ながら進級することへの期待を膨らませることができるよう計画しています。

残りの日々を子どもたちが不安にならないよう寄り添いながらゆっくりと関わってゆきます。

藤井 邦子

うさぎ

先日の参観では、多くの保護者の方に普段の子どもたちの様子を知ってもらった事がありました。お時間を作っていただき、ありがとうございました。

2月は、戸外でたくさん身体を動かしたり、様々な製作に取り組んだりして楽しみました。

戸外では、他のクラスの子とも一緒に遊ぶなかで異年齢児との関わり方を少しずつ知り、一緒に遊んでもらったり、自分よりも小さな子どもに玩具を貸したり自ら声を掛けたりしようとする姿がありました。

今月も戸外でしっかりと身体を動かしたり、自然散策を行ったり、室内でも集団での遊びを取り入れ、他児と関わる楽しさを十分に味わえるようにしてゆきます。

またうさぎ組での生活も残り1か月となりました。くま組に向けて準備を進めていますが、子どもたちがより期待感を持って過ごせるよう支えてゆきます。

今年一年、たくさんご協力頂きありがとうございました。残りの日々もよろしくお願い致します。

大谷 朱音

くま

2月は寒い日が続きましたが、寒さに負けず戸外で沢山身体を動かして遊びました。

その中でも氷おにごっこや、バナナおにごっこは子どもたちの溢れるエネルギーを最大限に発揮できる遊びの一つで、ただ逃げるだけでなく、おにに捕まった友だちを助けることも考えながら逃げる必要があります。

自分のしたい事だけをやるのではなく、皆がルールを守って遊べるようになったからこそ、楽しめる遊びが増えました。

今月も引き続き、ルールのある遊びを通して、友だちとの関わりを深めてゆきます。

早いもので、くま組最後の月となります。子どもたちが進級に期待を持てるようにすることをはじめ、何よりも子どもたち自身が大きく成長したことを実感する最後の1ヶ月を過ごします。

坂本 拓也

ぞう

早いもので、ぞう組での生活も残すところ1ヶ月となりました。

2月はバレンタインクッキー作りやお店屋さんごっこ、園外保育など、季節感のある物を取り入れながら、子どもたちにとってワクワクがたくさん詰まった日々を過ごしました。

今月は、いよいよきりん組進級へ向かう1ヶ月となります。進級を楽しみにする反面、環境の変化への不安もあり、心の揺れ動きが増えています。

また、ともだちだいすき！な時期でもあり、自分の思いをしっかりと伝えることが出来るようになる分、思いがぶつかり合うことも多くなっています。

人間形成の土台作りである大切なこの時期に、少しでも多くの経験をする事でこころの強さにつなげます。

ぞう組ラスト一か月、元気に走り抜きましょう！

大杉 静香

きりん

雪が降ったり、園外活動があったり、冬の雰囲気を楽しんだ2月。

「〇〇する人集まれ〜！」「後で〇〇作ろうね！」と、子どもたち同士のやり取りが飛び交い、「また明日！」と友だちとの約束を楽しみに帰る姿が印象的でした。

また、就学への期待が高まるよう、絵本や“学校ごっこ”を通して小学校に親しみが持てる活動にも取り組みました。みんなで点繋ぎ(数あそび)等に取り組み、「お勉強楽しかった！」と緊張や不安が少し和らいだように感じます。

いよいよ、卒園の日が迫っています。「今」という時間を大切に、きりんぐみの「仲間」みんなと一緒に過ごせる時間を存分に楽しみます。

また、身近な人、大切な人への“感謝の気持ち”に気付き、子どもたちなりの表現でしっかりと相手に伝えられるよう導きます。

“ひとりみんなのために
みんなはひとりのために…♪”

山田 実咲

